

社会福祉法人 焼津市社会福祉協議会

令和2年度 事業報告

令和2年度は、第3次焼津市地域福祉計画・地域福祉活動計画（平成28年度から令和2年度までの5ヶ年計画）に基づき、市民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう「地域で育てる支えあう ふだんのくらしのしあわせづくり」の実現を目指して、「人創り」「環境創り」「しくみ創り」「基盤創り」の4つを基本目標として、さまざまな福祉課題の解決に取り組みました。

そして、第3次計画が最終年度を迎えたため、引き続き、本会と市が一体となって地域共生社会の実現を目指す第4次計画を策定しました。

また、令和2年度は、本会にとりまして、社会福祉法人となり、50年の節目の年でしたが、コロナ感染症の影響により式典等は開催せず、50周年記念誌を作成し、半世紀にわたる功績や記録をまとめました。

◆基本目標1 人創り

地域を支える人創りの推進については、福祉やボランティア活動に関心を持つきっかけづくりとなる楽しく学ぶ「ふくしのススメ」の開催を始め、市内の福祉教育実践校である小中高全校に対して福祉教育が円滑に進むよう活動助成を行いました。

また、焼津市福祉を育てる市民運動推進協議会が主催する福祉まつり「ふれあい広場」及び「ほほえみ夏祭り」などの大規模なイベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しましたが、社会福祉大会やボランティア講座は感染予防対策を徹底し開催しました。

◆基本目標2 環境創り

地域福祉活動の推進については、概ね中学校区単位で形成されている各地域の地域福祉推進委員会への活動助成を始め、地域ふれあいサロン活動の支援を行いました。

また、地域住民の理解と協力を得て、民生委員・児童委員が中心となり、地域ぐるみによる見守りネットワーク「ふれあいネット」を展開し、安心して暮らせる地域づくりを進めました。

地域ささえあい協議体を、新たに焼津地区・港地区・和田地区に立ち上げ、市内全域に設置し、協議体と連携して地域にある困りごとを調べ、必要とされる住民同士の支えあい活動について話し合いを行いました。

◆基本目標3 しきみ創り

支援が必要な人を支える体制の整備と強化については、ふくしなんでも相談事業など相談体制の充実を図りました。

新型コロナウイルス感染症関係により、収入が減った方に対する特例貸付で、静岡県社会福祉協議会が行う緊急小口資金・総合支援資金の受付窓口として、焼津市内の方の受付を行いました。

令和2年5月18日に市が開設した成年後見支援センターの運営を受託し成年後見制度に関する相談や申立てに関すること、他機関へのつなぎなどの支援を行いました。

障害者等相談支援事業は、他の事業所と連携を取り合いながら、相談者の自立に繋げるよう、支援しました。また、日常生活自立支援事業を促進しました。

◆基本目標4 基盤創り

地域福祉を進める協働・連携と基盤強化については、「社協やいづ」を発行し、福祉の最新情報を提供しました。

大富小学校区と大井川地区の放課後児童クラブを運営しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夏休み限定の「おひさまクラブ」は中止しました。

社協会費については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、振込による納入も出来るようにしました。

介護支援関係では、高齢者、障害者等の様々なニーズに合わせた介護サービス事業・障害福祉サービス事業を実施しました。

指定管理者として、総合福祉会館と大井川福祉センターの管理運営や焼津市共同募金委員会の事務を行い各団体等に助成しました。

福祉サービスに関する苦情解決第三者委員会を開催し、業務中のヒヤリハット等の状況について報告しました。また、毎月開催する衛生委員会において、ヒヤリハット等の報告を行い、職員の気づきを促し、業務改善への取り組み、職員の意識喚起を図り、質の高い福祉サービスの提供に努めました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による不要不急の外出の自粛、定員制限等により、活動したくても活動できない状況の中、事業・サービスを止めないため、ICTやソーシャルメディアの活用など様々な取組を行いました。また、感染防止対策として、アクリルパネル板・消毒液の設置や除菌電解水給水器・サーモグラフィカメラの設置等も行いました。その他、放課後児童クラブは、市の助成を受けて非接触型体温計の購入やエアコン等の修繕を行う等3密を回避しました。一方、市からの受託事業の生きがい活動支援通所事業は、緊急事態宣言中を含めしばらくの間休止しましたが、休業手当対象となる臨時職員には休業手当を支給しました。

さらに、職員が安心して業務に従事できる環境整備と事業所内の感染拡大防止を図るため、感染症予防等従事手当や宿泊施設の確保等を定めた規程を制定しました。また、新型コロナウイルス感染症に対応した事業継続計画（BCP）を作成し、発生時に備えました。

今回の経験をマイナスに捉えず、通信環境の整備等、新しい生活様式につなげていきます。

生活様式が変わります。社会の動向、市民の動向を注視しながら、これからも焼津市社会福祉協議会は、地域福祉の推進に取り組んでまいります。

令和3年3月31日

社会福祉法人 焼津市社会福祉協議会
会 長 永 田 實 治

令和2年度 事業計画に基づいた各事業の報告

(事業報告の附属明細書を含む)

基本目標1 人創り 地域を支える人創りの推進

(1) 福祉教育の充実

① 地域福祉に関する啓発活動の推進

ア 夏休み福祉体験学習及び世代間交流の開催

地域で暮らす様々な人々が安心して幸せに暮らせるまちづくりを願い、一人ひとりが地域社会の問題を学び、自ら考えて行動できる力を育てることを目的に開催した。

ふくしのススメ

実施日 8月19日(水)・20日(木)

協力団体・施設 2団体 参加者延べ 47人

イ 出張福祉講座・研修会開催事業

・いきいき旅倶楽部

開催日 10月15日(木)

会場 小川上公会堂

参加者 50人

内容 誰もが、いつまでも住み慣れた地域で暮らせるように
(生活支援体制整備事業について)

・静岡福祉大学

開催日 11月24日(火)

会場 静岡福祉大学地域交流センター

参加者 5人

内容 ボランティアの心得について

・焼津市民生委員児童委員協議会障害者福祉部会

開催日 3月23日(火)

会場 焼津公民館

参加者 42人

内容 福祉体験 車椅子の操作及び視覚障害者の介助について

ウ 福祉教育・福祉レクリエーション機材の貸出

【本所扱い分】

※()内は保有台数

器具名	貸出件数	器具名	貸出件数
車椅子	132件(18)	わくわくワークブック	0件(5)
磁気ループ	27件(2)	高齢者疑似体験セット	17件(8)
白杖	1件(18)	点字練習器	2件(40)

【大井川支所扱い分】

※()内は保有台数

器具名	貸出件数
車椅子	64件(15)

② 学校における福祉教育の推進

市内の小学校・中学校・高等学校の全校が福祉教育実践校の指定を受けている。学校においての福祉教育活動の円滑な推進と児童・生徒の社会福祉への理解と関心を高め、ボランティア活動の実践と社会連帯の精神を養えるよう支援した。

ア 福祉教育実践校活動助成事業

助成金 30,000円×23校

(小学校13校、中学校8校、高等学校1校・藤枝特別支援学校焼津分校1校)

イ 福祉教育実践校活動推進事業

福祉教育実践校担当者連絡会

市内27校(小学校13校・中学校9校・高等学校5校のうち藤枝特別支援学校焼津分校含む)で構成されている福祉教育実践校担当者連絡会を開催し情報の共有を行った。

ウ 福祉教育で社会福祉協議会が関係した内容

職員の派遣・・・5校6回 参加者延べ 443人

(内容:「ふくし」ってなんだろう?・福祉体験など)

講師の派遣調整・・・6校13回 参加者延べ 894人

(内容:点字・手話・視覚障害についてなど)

(2) 共助意識の醸成

① イベントなどを通じた意識啓発、交流活動の充実

ア 第50回焼津市社会福祉大会の開催(焼津市と共催)

2月12日(金)大井川文化会館ミュージコを会場に、関係者約250人の参加のもと、表彰並びに福祉講演会を開催した。

被表彰者 社会福祉協議会会長表彰 16人 3団体

(社会福祉施設・団体役員3人 社会福祉施設・団体従事者8人

社会福祉事業協力者5人 3団体)

社会福祉協議会会長感謝状表彰 1団体

(社会福祉事業協力者1団体)

福祉講演 「脳を知り、脳を育み、脳を鍛える」

講師 川島隆太氏(東北大学加齢医学研究所所長)

イ 静岡県健康福祉大会

本市から次の方が受賞された。

被表彰者 社会福祉功労表彰 24人 5団体

(民生委員児童委員1人 保護司2人 社会福祉施設役員及び従事者

18人 社会福祉関係団体役員 1人 社会福祉事業協力者

2人 5団体)

募金ボランティア個人 3人

ウ 焼津市「福祉を育てる市民運動」推進協議会主催事業(第39回福祉まつり「ふれあい広場」)開催補助事業

焼津市「福祉を育てる市民運動」推進協議会が実行委員会を組織し、社会福祉協議会は運営面での事務局として、推進協議会と実行委員会を支援した。

第39回福祉まつり「ふれあい広場」は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。

エ 第17回ほほえみ夏祭りの開催

市内の福祉団体・ボランティアグループなどの交流の場、幼児からお年寄りまでの憩いの場、地域住民の「出会い」「触れ合い」の場を提供することにより、市内の福祉の活性化を促すことを目的に開催しているが、第17回ほほえみ夏祭りは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(3) 人財育成（地域の担い手、コーディネーター、リーダー、ボランティアなど）

① 地域活動、ボランティア活動に関する啓発

ア 広報紙、ポスター、チラシを使った啓発活動の充実

ボランティア活動の紹介や募集の際にチラシやポスターなどを総合福祉会館・大井川福祉センターなどに掲示し、啓発に努め、活動希望者の増加につなげた。

② 地域福祉活動に参加する人材の育成

ア 精神保健福祉ボランティア活動推進事業

精神保健福祉ボランティアグループへの活動支援

精神保健福祉ボランティアの円滑な活動（メンタルヘルスサロン「ととろ」）の運営を支援し、地域における本分野への理解を深めることに努めた。

イ 傾聴ボランティア活動推進事業

ボランティアスキルアップ講座の開催

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止した。

ウ ボランティア活動推進事業

ボランティア講座の開催

ボランティアについて正しく学び、様々なボランティア活動を始めるきっかけとなるよう、市内で活躍するボランティア実践者の講話も交え実施した。

開催日 1月19日（火）、1月20日（水）、2月19日（金）

会場 総合福祉会館

講師 NPO法人日本ボランティアコーディネーター協会 青山織衣氏

点字サークル焼津タンポポ 萩原氏

音訳ボランティアほおずき 小川氏

精神保健福祉ボランティアととろ 平岡氏

焼津災害支援ネットワーク 今村氏

参加者 6人

基本目標 2 環境創り 地域福祉活動の推進

(1) 小地域福祉活動への支援・活性化

① 地域組織・活動への支援充実

ア 世代間交流の支援

世代を超え、お互いが理解を深める活動が円滑に進むよう支援した。

イ 地域福祉推進委員会活動助成

市内 8 地区に設立されている、住民主体で福祉活動を行う自主組織の地域福祉推進委員会等の活動を支援し、地域福祉推進に努めた。

運営助成 構成する自治会数及び世帯数を基礎として算出し助成を行った。

世帯数（千円以下は四捨五入）× 30 円 = 1,257,000 円

（前年度 1,252,000 円）

推進委員会等	運営助成・活動助成金
焼津地区地域福祉推進委員会	178,000 円
大村地区地域福祉推進委員会	119,000 円
豊田地区地域福祉実践推進委員会	266,000 円
小川地区地域福祉推進委員会	153,000 円
港地域づくり推進会	158,000 円
東益津地区地域福祉推進委員会	95,000 円
大富公民館教育文化推進会	212,000 円
和田地区地域づくり推進会	76,000 円

活動助成 1 事業 12,000 円を上限として前期・後期に分けて助成を行った。

合計 34 事業 320,603 円（前年度 46 事業 495,701 円）

推進委員会等	事業数	助成額
焼津地区地域福祉推進委員会	1 事業	12,000 円
大村地区地域福祉推進委員会	4 事業	44,000 円
豊田地区地域福祉実践推進委員会	2 事業	18,000 円
小川地区地域福祉推進委員会	6 事業	61,530 円
港地域づくり推進会	5 事業	38,373 円
東益津地区地域福祉推進委員会	7 事業	66,700 円
大富公民館教育文化推進会	9 事業	80,000 円
和田地区地域づくり推進会	0 事業	0 円

ウ 地域住民との勉強会の開催

公民館単位で職員の地区担当制を行い、1 地区当たり 3～4 人体制でチームとなり担当地区における地域住民と協同した地域課題の把握と問題解決への対応を目指した。

② 「顔の見える地域づくり」の実践

ア 居場所づくりの推進

生活支援体制整備事業として気軽に互いの状況を話せる場や機会を持つ、顔の見える地域づくりを推進した。

新規設立 1 件 （コロナ禍にあり開設延期となったケース 3 件）

(2) 地域ネットワークの構築と周知

① 福祉活動の担い手の連携促進

ア 障害のある人や高齢者など経験者や体験者の地域福祉活動への人材活用

本会の業務の一部を業務委託することで人材活用を行った。

広報紙社協やいづの仕訳梱包作業（年6回発行）

社会福祉法人高風会（精神障害を持っている方の就労支援する社会福祉法人）

焼津市シルバー人材センター（高齢者に就業を提供する団体）

総合福祉会館と大井川福祉センターの時間外の受付業務

焼津市シルバー人材センター（高齢者に就業を提供する団体）

② 地域における見守りネットワークの充実

ア ふれあいネット事業（地域住民による見守り）活動の推進充実

日常生活の中で、特に不安を抱えがちな「一人暮らしの高齢者」や「重度障害者」及び「高齢者世帯」を対象として、地域住民の理解と参加を得て、社協支部長及び民生委員が中心となって地域ぐるみによる見守りが展開され、安心して暮らせる地域づくりが進んだ。

ふれあいネットの状況

（前年度430ネット）

ネット数 393 ネット（1支部あたり 平均10.3ネット）

見守り員 499人（1ネットあたり 平均1.3人）

担当民生委員 131人（1人あたり 平均3.0ネット）

③ 地域資源のコーディネート機能の充実

ア 生活支援体制整備事業

・地域ささえあい講演会

住民同士のささえあいの大切さに気付く機会となるよう、リモートによる講演会を開催した。

開催日 12月14日（月）

会場 総合福祉会館

参加者 87人

講師 目崎智恵子氏（高崎市第1層生活支援コーディネーター）

・地域包括支援センターとの意見交換会

市内で開催されている第2層地域ささえあい協議体の進行状況について、焼津市、地域包括支援センターと情報共有し、意見交換を行った。

開催日 7月15日（水）、10月2日（金）、12月18日（金）

3月19日（金）

会場 総合福祉会館

構成員 10人（焼津市2人、社協4人、地域包括支援センター4人）

・第2層地域ささえあい協議体

その地域にある「困りごと」を調べ、必要とされる住民同士のささえあい活動について話しあう「地域ささえあい協議体」を市内9か所に設置し協議を行った。

（焼津地区）※新規設立

開催日 1月22日（金）、3月9日（火）

会場 焼津公民館

構成員 16人

（焼津第6自治会・焼津第7自治会地区）

開催日 6月24日（水）、8月28日（金）、10月30日（金）、

12月25日（金）

会場 大村公民館

- 構成員 13人
(豊田地区)
開催日 4月10日(金)、7月10日(金)、9月23日(水)
12月10日(木)、3月17日(水)
会場 豊田公民館
構成員 12人
(小川地区)
開催日 6月5日(金)、8月7日(金)、10月6日(火)
3月2日(火)
会場 小川公民館
構成員 12人
- ・サービス創設に向けた勉強会を開催「移動サービス勉強会」
第1回目
開催日 8月7日(金)
会場 小川公民館
参加者 16人
講師 石山典代氏(NPO法人全国移動サービスネットワーク理事)
 - 第2回目
開催日 9月18日(金)
会場 総合福社会館
参加者 5人
- (港地区) ※新規設立
開催日 3月11日(木)
会場 港公民館
構成員 17人
- ・実践報告会の開催「気になる活動! 島田市道悦島応援隊実践報告会」
開催日 11月29日(日)
会場 港公民館
参加者 50人
講師 小林強氏、斉藤実氏(島田市道悦島応援隊)
- (東益津地区)
開催日 7月2日(木)、9月17日(木)、11月27日(金)
1月29日(金)
会場 東益津公民館
構成員 11人
- (大富地区)
開催日 6月16日(火)、8月25日(火)、11月13日(金)
2月5日(金)
会場 大富公民館
構成員 11人
- ・居場所説明会の開催
開催日 1月7日(木)
会場 大富公民館
参加者 17人
 - ・居場所勉強会の開催
開催日 3月11日(木)
会場 大富公民館
参加者 14人
- (和田地区) ※新規設立
開催日 9月4日(金)、12月4日(金)、3月5日(金)

会場 和田公民館
構成員 11人

(大井川地区) ※

開催日 7月3日(金)、7月21日(火)、7月28日(火)

会場 大井川福祉センター

構成員 6人

※：飯淵地区に焦点を絞り、自治会と連携し、ボランティアと協議しながら居場所づくりを進めた。

(3) 場や拠点づくりの支援と周知

① 地域における交流の場、拠点づくりへの支援

ア 地域ふれあいサロン活動支援(ミニデイサービス、居場所、子育てサロン)

引きこもりがちな高齢者の仲間づくりや生きがいづくり、子育て中の親の心労の緩和や孤独感の解消など、心の拠り所となる場づくりが地域住民の理解と参加により促進が図れるよう支援を行い、地域でのサロン活動の充実を図った。

地域ふれあいサロンボランティア連絡会の開催

サロン活動の運営をより円滑に行うため、情報提供の場としてボランティア代表者による連絡会を2回に分け開催した。

開催日 3月1日(月)、3月3日(水)

会場 総合福祉会館、大井川福祉センター

参加者 地域ふれあいサロンボランティア他 79人

活動費の助成

地域が主体となって開設し運営するサロンに、活動の継続と地域で孤立しがちな方の仲間作りを促進する活動に助成を行った。

運営助成

・高齢者サロン(ミニデイサービス) 56ヶ所 1,478,000円

・子育てサロン 2ヶ所 63,000円

・利用者を特定しないサロン 23ヶ所 699,000円

新規開設

・利用者を特定しないサロン 1ヶ所 70,000円

イ おもちゃ図書館運営支援

総合福祉会館の2階大広間を会場に毎月第2日曜日に開催され、障害の有無に関わらず子ども同士の交流の促進や保護者の情報交換を目的にするおもちゃ図書館の運営を支援し、その目的達成が図られた。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、計4回の開催となった。

(単位：人)

区分\月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用人員						20	18	22	53				113
ボランティア						10	12	5	8				35
計						30	30	27	61				148

(前年度合計 744人)

② ボランティア活動への場の支援

ア ふくしの広場、ボランティアビューローの機能の充実

総合福祉会館内と大井川福祉センター内にボランティアが利用できる場所（ボランティアビューロー）として、ボランティア活動の起点として利用しやすい管理運営に努めた。

総合福祉会館内 ふくしの広場（ボランティアビューロー）利用状況

利用団体 51団体 利用回数 681回 利用者数延べ 3,997人
（※前年度50団体810回 5,987人）

大井川福祉センター内 ボランティアビューロー利用状況

利用団体 13団体 利用回数 114回 利用者数延べ 667人
（※前年度13団体200回 1,452人）

イ ボランティア相談事業

ボランティア活動希望者への活動紹介や活動実践者からの相談に応じた。

ボランティア活動希望相談	136件
ボランティア活動依頼相談	255件
ボランティア活動指導・調査	586件

ウ ボランティア活動保険等加入促進

保険加入状況

加入プラン	件数	加入人数
基本プラン（年額350円）	177件	2,397人
天災地震補償プラン（年額500円）	66件	714人
行事用A－1プラン（1人28円）	32件	2,029人
行事用Cプラン（28円）	17件	901人
ふれあいサロンA（1人13円）	70件	24,487人
ふれあいサロンB（1人27円）	2件	275人
福祉サービス総合補償Aプラン（1人17円）	3件	1,034人
福祉サービス総合補償Cプラン（1人42円）	1件	625人
オプション感染症の補償（1人1円）	4件	1,659人
送迎サービスAプラン（1人20円）	2件	450人
合計	374件	34,571人

（前年度合計433件 36,854人）

事故手続き 2件 2人（前年度6件6人）

（４）防災・防犯活動の促進

① 地域における防災・災害時体制の強化

ア 焼津市災害ボランティア本部運営マニュアルの作成

災害時における円滑な災害ボランティア活動を通じて、被災者の日常生活への復旧支援を担う焼津市災害ボランティア本部が、スムーズに開設できるよう、新たにマニュアルを整備した。また、焼津市災害ボランティア本部開設訓練の実施を通じ、マニュアルの検証を行った。

イ 焼津市災害ボランティア本部運営訓練の実施

災害ボランティア本部の開設の決定から設置完了までの訓練を行った。

実施日 8月31日（月）

実施場所 ボランティアビューロー、大覚寺公園東園ウッドチップエリア

ウ 災害ボランティアの養成

災害時のボランティア機能の充実を図るためボランティア養成講座を開催した。

開催日 1月20日(水)

会場 総合福祉会館

参加者 6人

(5) 福祉団体、市民グループの活動の推進

① 団体活動への支援の充実

ア 福祉関係団体への活動支援

団体名	助成金額	備 考
焼津市手をつなぐ育成会	70,000円	会員の保護育成・知的障害の研究と啓蒙
焼津市重症心身障害児(者)を守る会	50,000円	会員の福祉増進
焼津市保育園協会	50,000円	幼児保育の研究・会員の資質向上
さわやかクラブやいづ連合会	400,000円	社会福祉貢献活動・友愛訪問
焼津市身体障害者福祉協会	400,000円	会員の更生・援護、福祉増進
NPO 法人精神保健福祉焼津心愛会	50,000円	精神保健福祉の向上
焼津断酒会	30,000円	会員の相談・福祉貢献
焼津市自治会連合会	400,000円	地域福祉活動の推進
焼津地区保護司会	50,000円	犯罪者の更生・青少年の非行防止
焼津市遺族会	30,000円	遺族相互の援助事業
焼津市民生委員児童委員協議会	400,000円	社会福祉の増進
	100,000円	共同募金運動推進費
	370,000円	赤い羽根共同募金特別募金協力
焼津市ボランティア連絡協議会	400,000円	
やいづおもちゃ図書館運営委員会	100,000円	
合計	2,900,000円	前年度合計額 2,917,000 円

② ボランティア活動促進のための支援

ア ボランティア連絡協議会運営支援

ボランティア連絡協議会に所属するグループの活動を支援し、活動の継続とグループ間の連携を図った。

構成グループ 22団体(629人)

No.	グループ名	加入年	主な活動	会員数
1	大富公民館毛糸編み10cm運動	H6	余り毛糸の利用で作品作成、福祉施設へ寄付	18
2	会食給食ボランティアあじさいの会	H6	ひとり暮らし高齢者への給食サービス	96
3	手話サークルさざなみ	H6	手話の学習・講習会の開催ほか	57
4	点字サークル六星会	H6	広報やいづ等の点訳活動ほか	17
5	はだかつ子の会	H6	公民館で地域の子供達との交流活動	17
6	明るい社会づくり運動焼津地区協議会	H6	黄色の横断バックの寄付など	22
7	焼津地区更生保護女性の会	H6	青少年を対象とした非行防止活動	110
8	れんげ草の会	H6	福祉施設での諸活動	28
9	精神保健福祉ボランティアととろ	H7	精神障害者支援	13
10	傾聴ボランティアさつき会	H9	福祉施設での諸活動	9
11	フレンズ静岡	H10	福祉施設での諸活動	10
12	ボランティア五反田	H13	坂本地区ミニサービス、施設訪問	6
13	静岡福祉大学ボランティアサークル	H15	施設団体等の地域福祉交流ほか	15
14	手話サークルつばさ	H21	手話の学習他	21

15	梅菊会	H25	施設訪問他、ミニデイサービスへの協力	11
16	ラ・コンテ	H26	広報やいづの音訳、CD作成	9
17	NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡	H26	就労支援セミナー開催 サポーター養成セミナー開催 シンポジウム	107
18	しおんの会	H27	長者の森にて居場所づくりのボランティア	20
19	焼津ボランティアだんごの会	H27	河川のヘドロを取り清流を蘇らす・蛍の放流	15
20	傾聴ボランティアひびき	H27	訪問傾聴・施設訪問	8
21	傾聴ボランティア笑幸	H28	訪問傾聴・施設訪問	6
22	焼津福祉文化共創研究会	H31	情報交換・啓発広報活動、広く市民に開かれた活動	14

(前年度 23 団体 680 人)

基本目標 3 しゅくみ創り 支援が必要な人を支える体制の整備と強化

(1) 相談体制の充実

① 相談体制の充実

ア ふくしなんでも相談事業（焼津市総合福祉会館内）

総合福祉会館内社協相談室において相談事業を実施した。

開設日 毎週月曜日～金曜日

取扱件数 延べ1,467件（前年度381件）

分野別相談内容

（単位：件）

区分	相談件数	区分	相談件数	区分	相談件数	区分	相談件数
生活困窮	110	医療	3	精神保健	51	貸付	1,261
保険・年金	2	法律	4	身体障害	2	日常生活自立支援事業	9
職業・生業	4	母子・父子福祉	1	知的障害	4	苦情	1
住宅	4	児童福祉	0	精神障害	5	その他	49
家族	11	老人福祉	12	成年後見制度	11	合計	1,544

相談経路

（単位：件）

経路	件数	経路	件数	経路	件数
本人・家族から直接	1,428	社会福祉施設から	0	その他	21
民生委員・児童委員から	2	福祉事務所	3		
病院・診療所等医療機関	3	居宅介護支援事業所	10	合計	1,467

対応件数

（単位：件）

相談事項	件数	相談事項	件数	相談事項	件数
解決終了	24	他機関組織への紹介	26	その他	31
相談継続	1,274	地域包括支援センターへ紹介	7		
他相談への紹介	43	傾聴	63	合計	1,468

② 緊急措置対応

ア 貸付事業

- 生活福祉資金（静岡県社協資金）の受付

低所得世帯・障害者世帯・高齢者世帯に対し、包括的な相談と生活資金の貸付事務を行った。

また、貸付・償還に対する必要な援助指導を行った。

資金名	決定件数	決定額
教育支援資金	13件	5,070,000円
臨時特例つなぎ資金	1件	40,000円
緊急小口資金（コロナ特例）	511件	93,200,000円
総合支援資金（コロナ特例）	288件	92,830,000円
未決定分	未決定件数	未決定金額
緊急小口資金（コロナ特例）	2件	400,000円
総合支援資金（コロナ特例）	20件	10,130,000円
計	835件	201,670,000円

- ・小口資金の貸付及び償還

令和２年度の状況			令和２年度決算 貸付金残額
貸付		償還	
件数	貸付額	償還額	０円
０件	０円	４０,０００円	

イ 援護事業

- ・旅費欠乏者援護

切符（上り静岡５５人・下り島田２４人）を延べ７９人に支給した。

（前年度６９人）

- ・火災罹災者援護

全焼（３０,０００円）６件に見舞金を支給した。

（前年度３件）

（２）避難行動要支援者対策の体制づくりと強化

地域における避難行動要支援者対策の促進

- ・福祉避難所の運営

災害発生時に一般避難所での避難生活が困難な要支援者を受け入れる福祉避難所に指定を受けている施設の管理者として、市と協働し、運営が円滑に行えるよう検討を行った。

（３）権利擁護事業の推進

① 日常生活自立支援事業の促進

日常生活に不安のある高齢者や障害者（知的障害・精神障害）が自立した地域生活を送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等の支援を行った。

事業に関する問合せ・相談 ４,８９２件

（前年度５,１６５件）

契約者 ６１件（今年度新規契約者１件）

（前年度新規契約者６件）

② 成年後見制度の利用促進事業

ア 権利擁護センター・成年後見支援センター（令和２年５月１８日開設）の運営事業

成年後見制度に関する相談や、申立てに関すること、他の関係機関へのつなぎなどの支援を行った。

相談件数		1 4 2 件	対象者	高齢者	7 9 件
性別	男性	4 3 人		知的障害者	7 件
	女性	5 0 人		精神障害者	1 9 件
				その他	8 件
相談内容	成年後見制度に関すること				1 0 2 件
	日常生活自立支援事業に関すること				2 6 件
	財産管理に関すること				2 5 件
	相続に関すること				1 0 件
	申立てに関すること				4 7 件
	その他				3 3 件
相談者	本人				1 3 件
	家族・親族				4 7 件
	友人・知人				5 件
	医療機関				2 0 件
	行政機関				4 7 件
	介護支援専門員・介護保険サービス事業所				3 0 件
	地域包括支援センター				5 8 件
	障害者相談支援事業所・障害サービス事業所				2 2 件
	民生委員児童委員				2 件
	その他				6 件

権利擁護普及啓発事業

高齢者や障害者の権利が侵害されことなく安心して地域で暮らすことができるよう、成年後見制度をはじめ権利擁護についての理解を深めることを目的に講演会を開催した。

開催日 2月17日（水）
会 場 総合福祉会館
参加者 会場24名 WEB視聴27端末
講 師 古井慶治氏（ふるい後見事務所 認定社会福祉士）
「意思決定を踏まえた後見事務のガイドラインのポイント」

イ 法人後見事業

令和2年度新規受任 3件（後見2件・保佐1件）
累計受任 8件（後見5件・保佐3件）

（4）自立支援活動の促進

① 移動に関する自立支援

ア 外出時の移動支援事業（重度身体障害者移動支援）

身体障害の方で屋外での移動が困難な方に移動支援サービスを実施し、日常生活を維持することができた。

焼津福祉サービスセンター 利用者 8人 利用回数138回（前年度192回）
大井川福祉サービスセンター 利用者 9人 利用回数322回（前年度281回）

イ 福祉車両（ハンディキャブ）貸出事業

福祉車両の貸出を行い、寝たきりの高齢者や車椅子利用者の通院・レクリエーション、又は社会参加の促進を図った。

【本所扱い分】

車種	貸出件数	利用延べ人員
ハイエース	延べ 33件	本人・運転手・介護者延べ 150人
ワゴンR	延べ 44件	本人・運転手・介護者延べ 105人
N-BOX	延べ126件	本人・運転手・介護者延べ 339人
計	延べ203件	利用延べ計594人

（前年度合計貸出件数延べ225件）

【大井川支所扱い分】

車種	貸出件数	利用延べ人員
キャラバン	延べ 26件	本人・運転手・介護者延べ 95人
N-BOX	延べ 82件	本人・運転手・介護者延べ 197人
計	延べ108件	利用延べ計292人

（前年度合計貸出件数延べ167件）

基本目標 4 基盤創り 地域福祉を進める協働・連携と基盤強化

(1) 情報提供の充実

ア 地域福祉の事業、活動、サービスの情報提供の充実

広報誌及びホームページで、多くの方に情報を発信した。

イ 社協やいづの発行

社協活動のPRと福祉情報の提供を行った。また、音訳ボランティアの協力を得て視覚障害者に対しても速やかな情報提供を行い、幅広い市民に対し社協事業の周知が図られた。

- ・社協やいづ（全戸配布及び市内の企業約359社へ郵送）

年6回奇数月発行：1回49,500部発行

ウ 社協ホームページの充実

ブログページの更新など社協活動について速やかに情報提供を行った。

エ 50周年記念誌の発行

本会の法人設立50周年を記念して発行した。

(2) 福祉サービスの充実

① 福祉サービスの充実に向けた支援

ア 会食型給食サービス事業

高齢者の閉じこもり防止、仲間づくりなどを目的に会食サービスボランティア「あじさいの会」へ活動を委託した。月に一度市内10地区の公民館等で、ひとり暮らしの高齢者に会食形式で昼食会を開催し、参加者同士のふれあいや生きがいづくりをすすめた。

(単位：人)

区分\月別	5	6	7	9	10	11	2	3	合計	月平均
対象者		62	106	134	127	135		74	638	106
ボランティア		35	64	80	85	83		53	400	66
民生委員		9	9	14	14	14		2	62	10
計		106	179	228	226	232		129	1,100	183

5月、2月は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止（前年度合計1,641人）

イ 生きがい活動支援通所事業

介護保険法による給付対象とならない市内在住の概ね65歳以上で、日ごろ外出の機会の少ない高齢者の方を対象に、送迎・創作活動等のサービスを提供し、閉じこもり等を解消することができた。

- ・かもめデイサービスの運営（総合福祉会館内）

(単位：人)

区分\月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開催日	8	7	22	21	20	20	22	19	20	18	18	23	218
利用者	94	87	286	274	251	253	298	254	254	208	215	305	2,779

4月5月はコロナウイルス感染症感染防止のため、活動自粛（前年度合計3,318人）

・ぬく森デイサービス（大井川福祉センター内）

（単位：人）

区分\月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
開催日	8	7	22	20	20	20	22	19	20	19	18	23	218
利用者	88	85	245	253	215	226	267	213	224	212	197	271	2,496

4月5月はコロナウイルス感染症感染防止のため、活動自粛（前年度合計2,934人）

ウ 点字広報・声の広報発行事業

視覚障害者に対して、毎月1日に発行される「広報やいづ」等を点訳・音訳して発行し、速やかな情報提供を行った。

点字広報

協力：点字サークル六星会

利用者 20人

延べ発行部数 280部

声の広報

協力：ラ・コンテ

利用者 20人

延べ発行部数 280部

エ 放課後児童クラブ事業（市受託事業）

市内の放課後児童クラブ4クラブを運営。放課後児童または長期休暇期間における児童の安全と健全な保育を行った。

※新型コロナウイルスの影響により、今年度はおひさまクラブを開所しなかった。

（単位：人）

区分\月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
おおとみキッズ	277	275	685	637	428	561	612	519	496	453	420	479	5,842
大井川東1	253	284	521	527	424	504	530	484	430	388	405	463	5,213
大井川東2	227	244	520	534	398	496	542	468	444	401	402	449	5,125
大井川西	406	392	822	791	571	696	807	689	746	650	680	747	7,997
大井川南	348	341	678	648	517	568	609	531	538	479	432	609	6,298
計	1,511	1,536	3,226	3,137	2,338	2,825	3,100	2,691	2,654	2,371	2,339	2,747	30,475

（前年度32,353人）

オ 地域包括支援センター事業

介護予防ケアマネジメントや総合相談・支援、地域のケアマネージャーの支援、権利擁護、虐待の早期発見・防止を行った。

・北部地域包括支援センター（総合福祉会館内）

「焼津第6～豊田第10自治会・東益津第15～東益津第17自治会」

内容	件数	内容	件数
ケアプラン作成	4,062件	支援基盤構築のための会議・研修・打合せ	51件
総合相談	1,928件	老人クラブ・ミニデイなどグループへの介護予防啓発活動	19件
訪問及び実態調査	699件	地域ケアマネージャーへの支援	30件

・大井川地域包括支援センター（大井川福祉センター内）

「大井川地区各自治会」

内容	件数	内容	件数
ケアプラン作成	1,694件	支援基盤構築のための会議・研修・打合せ	52件
総合相談	581件	老人クラブ・ミニデイなどグループへの介護予防啓発活動	17件
訪問及び実態調査	444件	地域ケアマネージャーへの支援	29件

カ 障害福祉サービスの提供

・訪問介護・視覚障害者同行援護

自立支援法制度に対応して、訪問介護・家事援助サービスを提供し、日常生活を支援した。

焼津福祉サービスセンター

利用者 25人

延べ訪問回数 2,962回 延べ活動時間 3,269時間
(前年度 2,759回 2,968時間)

重度障害大学等修学支援

利用者 1人

延べ訪問回数 78回 延べ活動時間 39時間

大井川福祉サービスセンター

利用者 13人

延べ訪問回数 3,487回 延べ活動時間 2,984.5時間
(前年度 3,043回 2,966.5時間)

・身体障害者訪問入浴サービス

焼津福祉サービスセンター

身体障害者6人の方に、406回の入浴サービスを実施し生活改善をすることができた。
(前年度 6人 376回)

・車いす・磁気ループ（聴覚に障害のある方の補助器具）無料貸出事業

基本目標1(1)①ウに記載のため省略

・特定相談支援事業等

障害を持つ方が必要な福祉サービス等を受け、地域社会で安心して暮らしていくための支援を本人や家族に対して行った。

委託相談（市受託事業） (障害支援を利用している障害者等の人数)

	実人員	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	73	19	0	15	36	2	1	0

(相談支援方法)

	訪問	来所相談	同行	電話相談	メール	個別支援会議	関係機関	その他	計
身体障害	30	18	6	31	0	4	58	1	148
知的障害	9	2	10	45	0	5	37	0	108
精神障害	31	27	25	130	0	15	95	0	323
その他	5	1	1	12	0	0	5	0	24
児童	1	0	0	10	0	1	8	0	20
計	76	48	42	228	0	25	203	1	623

計画相談 計画件数 14件

キ 高齢者福祉サービスの提供

介護保険制度に対応して、地域の介護サービスを担う指定介護支援事業者・指定居宅サービス事業者として質の高いサービスの提供や効率的な事業運営に努め、利用者の要望に応える体制づくりを目指した。

・居宅介護支援（ケアプラン作成）

焼津福祉サービスセンター

介護支援専門員（ケアマネージャー）4人が、利用者様ご家族様の意向を伺い、ケアプランを作成し、望まれる自立した生活が送れるよう支援した。

（単位：人）

区分\月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
介護度1	44	44	39	38	38	40	40	38	33	28	32	31	445
介護度2	28	31	31	31	34	34	33	34	35	33	29	27	380
介護度3	26	26	25	24	21	24	26	26	25	23	21	21	288
介護度4	19	17	16	16	17	17	16	14	14	14	16	15	191
介護度5	8	8	9	7	7	11	8	5	5	5	3	4	80
合計	125	126	120	116	117	126	123	117	112	103	101	98	1,384

（前年度合計 1,464 人）

大井川福祉サービスセンター

介護支援専門員（ケアマネージャー）4人が、利用者様ご家族様の意向を伺い、ケアプランを作成し、望まれる自立した生活が送れるよう支援した。（単位：人）

区分\月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
介護度1	30	32	33	30	29	28	31	34	36	37	38	35	393
介護度2	26	25	23	23	23	30	32	31	31	30	32	30	336
介護度3	16	15	14	17	16	17	16	17	18	17	16	18	197
介護度4	6	7	7	6	6	7	7	6	9	7	8	6	82
介護度5	6	6	5	5	5	4	5	4	4	4	7	5	60
合計	84	85	82	81	79	86	91	92	98	95	101	94	1,068

（前年度合計 1,052 人）

・訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

介護保険に認定された方々に訪問介護員を派遣し、サービスの提供をし、自立した生活の支援を行った。

焼津福祉サービスセンター

サービス種別	身体介護	生活援助	身体介護・生活援助	合計
訪問回数	2,372回	241回	1,562回	4,175回
訪問時間	1,645時間30分	179時間6分	1,741時間	3,565時間36分

（前年度合計 3,774 回）

大井川福祉サービスセンター

サービス種別	身体介護	生活援助	身体介護・生活援助	合計
訪問回数	4,556回	477回	696回	5,729回
訪問時間	2,984時間20分	434時間50分	696時間	4,115時間10分

（前年度合計 4,986 回）

・訪問入浴介護事業

介護保険に認定された方々に、看護師と訪問介護員がチームを組み、入浴車で訪問しサービスの提供をし、生活改善を行った。

焼津福祉サービスセンター

(単位：人)

区分\月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用人員	6	6	7	4	6	5	5	6	6	4	5	4	64
入浴延べ人員	30	36	31	31	30	25	25	27	28	23	23	22	331

(前年度入浴延べ人員 404 人)

・通所介護事業（デイサービスセンターやすら樹）

介護保険に認定された方々に大井川福祉センター内に設置されたデイサービスセンターを利用していただき、入浴や食事、レクリエーション活動の通所介護を実施した。

(単位：人)

区分\月別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
介護度 1	91	86	88	93	87	79	93	86	88	95	97	116	1,099
介護度 2	177	164	169	187	176	179	204	209	202	199	200	218	2,284
介護度 3	54	46	51	58	64	71	81	74	77	74	66	65	781
介護度 4	38	48	50	59	33	39	50	47	45	32	31	37	509
介護度 5	14	2	3	7	8	9	0	0	0	0	0	0	43
合計	374	346	361	404	368	377	428	416	412	400	394	436	4,716

(前年度合計 5,079 人)

・介護予防

焼津福祉サービスセンター

174 件（北部包括 158 件・中部包括 16 件）

大井川福祉サービスセンター

42 件（大井川包括 42 件）

・日常生活支援総合事業

地域包括支援センターから依頼を受け、訪問介護員を派遣し日常生活の支援を行った。

焼津福祉サービスセンター

利用者 14 人 訪問回数 772 回 訪問時間 779 時間

(前年度合計 516 回)

大井川福祉サービスセンター

利用者 9 人 訪問回数 488 回 訪問時間 488 時間

(前年度合計 454 回)

② 助成金の交付

ア 共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）活動への協力

毎年 10 月から 12 月末までの期間で行われる共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい）について、運動の協力を行った。

イ 赤い羽根共同募金助成事業

令和元年度にご協力いただいた赤い羽根募金が令和 2 年度に静岡県共同募金会から助成され、地域福祉推進のための事業費や市内の福祉施設団体の円滑な活動のため活用された。

社会福祉協議会助成 8,880,529 円(地域福祉活動費)

(前年度 9,029,717 円)

ウ 赤い羽根地域福祉促進助成事業

共同募金配分金を原資として、自治会やボランティアへ助成を行い地域福祉の促進を図った。

審査会 開催日 7月13日(月)
 審査委員 7人
 決定事業数 20事業
 助成決定事業

区 分	事業数	助成額	備 考
事業費	2事業	119,000円	地域が行う訪問活動、検証事業に助成
機器整備費	18事業	1,181,000円	ボランティアグループ、自治会等の行う機材整備助成
合 計	20事業	1,300,000円	前年度助成 20事業 1,260,000円

エ 歳末たすけあい募金助成金事業

区分	金額	備考
在宅助成	5,142,000円	低所得世帯への助成 1世帯 @12,000円×422世帯 増毎 @3,000円×26人
地域助成	1,812,000円	市内福祉団体等の歳末・新年に実施した事業に助成 37事業
運動諸経費	154,456円	助成案内送付・助成時の資材・申請書印刷
合 計	7,108,456円	(前年度実績額 9,290,675円)

在宅助成は、対象者本人による申請方式。 地域助成は、対象団体による申請方式。

令和2年度低所得世帯児童・生徒援護金

在宅助成の決定した世帯の中で該当者のいる世帯に助成

種別	件数	金額	備考
小学校入学	5件	50,000円	1件10,000円
中学校進学	7件	70,000円	
中学校卒業	4件	40,000円	
合 計	16件	160,000円	

(前年度実績 21件 210,000円)

(3) バリアフリー、ユニバーサルデザインの推進

地域住民の人権が尊重され、偏見や差別のない地域づくりを進めるとともに、障害のある人や高齢者、ひとり親家庭など、情報へのアクセスが容易ではない住民に考慮した情報のバリアフリーを進めます。

(4) 企業や団体との協働基盤の整備

① 地域福祉の担い手やボランティア団体の連携強化

ア ボランティア団体間の連携コーディネート

ふれあいサロンのボランティアグループにおいて連絡会を開催した。

イ ボランティア連絡協議会運営支援の推進

随時、活動についての相談に応じた。

② 地域貢献を行う企業・団体との連携の推進

ア 企業の社会貢献活動研究会の運営

参加企業 10企業・団体

(株)アンビ・ア、サッポロビール(株)静岡工場、しずおか焼津信用金庫、静鉄ホームズ(株)、J Aおおいがわ焼津支店、東海造船運輸(株)、(株)法月電設、焼津漁業協同組合、焼津商工会議所、(福)焼津福社会

研究会の開催

- | | | |
|-----|-----|-------------------------|
| 第1回 | 開催日 | 4月16日(木) |
| | 会場 | 総合福社会館 |
| | 参加者 | 5人 |
| 第2回 | 開催日 | 6月18日(木) |
| | 会場 | 総合福社会館 |
| | 参加者 | 9人 |
| 第3回 | 開催日 | 12月9日(水) |
| | 会場 | 総合福社会館 |
| | 参加者 | 7人 |
| 第4回 | 開催日 | 3月16日(火) ※中止 |
| | | ※各企業に訪問し、研究会を終了する旨を伝える。 |

本研究会は、企業としての社会貢献活動、社会人としての地域参加活動について、実践と情報提供・ネットワークづくりをねらいとして開催してきたが、現在までに各企業ともその目的を達成している状況にあることから、今年度をもって、研究会を終了することとなった。

イ 社会福祉法人の地域公益的活動支援

社会福祉法人としての公益的な取り組み・市内の社会福祉法人間の連携を図るために連絡会を設立し、協議を開始した。

セミナーの開催

- | | |
|------|----------------------------|
| 名称 | 焼津・藤枝地区社会福祉法人役職員セミナー |
| | ～社会福祉法人が地域で求められる役割を果たすために～ |
| 開催日 | 9月10日(木) |
| 会場 | 総合福社会館 |
| 講師 | 社会福祉法人松溪会理事長 武居敏氏 |
| パネラー | 社会福祉法人東益津福社会理事長 村松幹子氏 |
| | 社会福祉法人三愛会理事長 阿井孝則氏 |
| | 社会福祉法人焼津福社会 池ヶ谷聡氏 |
| 主催 | 焼津市社会福祉協議会、藤枝市社会福祉協議会 |
| 共催 | 静岡県社会福祉協議会 |

焼津市社会福祉法人連絡会設立プレ企画の開催

- | | |
|-----|----------------------------------|
| 名称 | 福祉人材新卒採用戦略セミナー@焼津 |
| 開催日 | 10月29日(木) |
| 会場 | 総合福社会館 |
| 講師 | 一般社団法人FACE to FUKUSHI 事務局長 岩本恭典氏 |

連絡会の開催

- | | | |
|-----|-----|-----------|
| 第1回 | 開催日 | 12月21日(月) |
| | 会場 | 総合福社会館 |
| | 参加者 | 9人 |
| 第2回 | 開催日 | 2月1日(月) |
| | 会場 | 総合福社会館 |

参加者 7人
 第3回 開催日 3月15日(月)
 会場 総合福祉会館
 参加者 9人

(5) 市・社協の連携基盤の整備と強化

① 情報・課題の共有、連携

第3次焼津市地域福祉計画・地域福祉活動計画の進行管理

支援策を示した市の「地域福祉計画」と具体的な取り組みを進める社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」を一体化し、市と社協の連携がより強化され地域福祉の推進が図られる。(計画期間 平成28年度から平成32年度までの5か年)

シートによる進行管理

令和2年度分の進行管理シートを作成した。

第4次焼津市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定

第3次計画に引き続き、地域共生社会の実現を目指し、市の地域福祉計画と社協の地域福祉活動計画を一体的に策定した。

(6) 社協活動の基盤強化

① 自主財源の確保

会員数及び会費

区分	会員数	金額	備考
普通会員	46,443戸	18,567,491円	1戸年額400円(目安) 会員数は、全世帯の97%
特別会員	778件	1,374,890円	1口 1,000円
施設団体会員	22施設・10団体	387,000円	1口 2,000円
合計		20,329,381円	※前年度実績額 20,760,500円

金銭預託(寄附)及び払出

預託

社会福祉活動寄附金 126件 1,852,718円
 (前年度 118件 2,403,517円)

払出

社会福祉活動寄附金 1,852,718円は、社協に払出し活動費に充当した。

物品預託(寄付)及び払出

預託

物品	件数	物品	件数	物品	件数
使用・未使用切手	118件	使用・未使用ハガキ	49件	ベルマーク	44件
オムツ類	7件	タオル等	25件	文具	3件
毛糸	24件	空きティッシュBOX	100件	使用・未使用テレカ	6件
食糧品	5件	その他	61件		

払出

地域福祉活動推進に

(使用済み切手、未使用切手、書き損じハガキ、未使用テレカ、車イス)

福祉施設に (文具、オムツ、タオル、空きティッシュBOX他)

ボランティアグループに (毛糸)

市内学校に (ベルマーク)

生活困窮者に (食糧品)

② 拠点施設の管理・運営

総合福祉会館管理運営

開館日並びに利用者数

(単位:人)

月別\区分	開館日	会議室等	機能回復 訓練室	ワーク スペース	子育て サポートルーム	浴室	※その他	視察見学	延べ人数
4	19日	429	0	44	0	71	413	0	957
5	11日	346	0	42	324	0	346	3	1,061
6	29日	1,378	172	172	1,292	935	995	13	4,957
7	28日	2,054	233	146	1,438	1,190	1,263	4	6,328
8	29日	1,416	197	177	1,367	1,212	1,008	56	5,433
9	27日	2,406	224	91	1,429	1,173	1,080	28	6,431
10	30日	2,639	168	126	1,453	1,206	1,230	74	6,896
11	27日	2,318	108	130	1,082	1,229	1,179	78	6,124
12	27日	1,878	93	128	1,070	1,338	1,074	3	5,584
1	25日	1,648	82	100	1,133	1,271	900	8	5,142
2	25日	1,491	77	88	1,213	1,329	913	5	5,116
3	29日	2,570	121	77	1,512	1,442	1,196	4	6,922
合計	306日	20,573	1,475	1,321	13,313	12,396	11,597	276	60,951

(前年度延べ88,342人)

「※その他は、ふくしの広場(共用相談室含む)・かもめデイサービス(利用者のみ)・フリースペースの利用者を合計したもの。」

※4月21日～5月20日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉館

※4月10日～6月1日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため浴室休業

※(R2)3月13日～6月1日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため機能回復訓練室閉鎖

※1月6日 雑用水ポンプの不具合によりトイレが使用できなくなったため臨時閉館

※1月20日～ 館内での食事禁止

〈新型コロナウイルス感染防止対策〉

- ・カウンターにアクリル板設置 9台
- ・1階に除菌電解水給水器を設置 2台
- ・サーモグラフィーカメラ設置 1台

展示ギャラリー

総合福祉会館2階の展示スペースを展示ギャラリーとして、団体・個人に自主運営管理として貸出をした。(1回の期間:2週間) 計4回

会館だよりの発行

発行回数 月1回(1回の発行部数355部)

会館園芸ボランティア

会館園芸ボランティア（登録者16人）にふれあい花壇や正面玄関に花の植え付けを依頼。また、活動内容や園芸情報の話し合いの場として、会館ボランティア集会を開催した。

開催日 4月10日（金）・6月12日（金）・9月11日（金）・11月13日（金）
・12月11日（金）・1月15日（金）・3月19日（金）

リハビリの広場

月1回、身体に障害のある方・60歳以上の方・怪我や病気でリハビリが必要な方を対象に理学療法士によるリハビリ相談などを行った。利用者延べ64人
※4月、5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため機能回復訓練室が閉鎖となっていたため、リハビリの広場も中止

防災訓練

災害時に備え、総合福祉会館内・福祉ゾーンで防災訓練を行った。

総合福祉会館内（通常時1回目）

開催日 6月18日（木）

内容 1階喫茶野いちごから火災が発生したことを想定し、初期消火・避難誘導・通報訓練を実施。

参加者 103人

総合福祉会館（夜間休日対応）

開催日 11月14日（土）

内容 社協職員等がいない土曜日に1階喫茶野いちごからの出火を想定した通報訓練・初期消火訓練を実施。

参加者 10人

総合福祉会館内（通常時2回目）

開催日 12月2日（水）

内容 1階喫茶野いちごから火災が発生したことを想定し、初期消火・避難誘導・通報訓練を実施。

参加者 101人

ウェルシップ映画会

春休みに多目的ホールで映画上演会を開催した。その際、福祉活動に協力いただくため、使用済み切手・書き損じハガキ等を持参していただいた。

開催日 3月24日（水）

参加者 延べ64人

上映内容 『ペット2』 1日2回上映

ほのぼの写真展

会館2階にある展示ギャラリーのPRと、利用促進を目的として写真展を開催した。

展示期間 1月21日（木）～2月9日（火）

作品数 一般部門65作品 キュート部門74作品 合計139作品

テーマ 『私のベストショット』

ウェルシップ探検ツアー

総合福祉会館を見学することにより、障害者や高齢者のためのユニバーサルデザインを学び福祉教育ならびに会館のPRを目的に開催した。

開催日 8月17日（月）、8月21日（金）

会場 総合福祉会館全館

参加者 延べ26人

内容	設計の基本概念、ユニバーサルデザインに基づいた設計の説明 会館内の地図を基に探検形式で見学
----	--

総合福祉会館内施設等事務連絡会の開催

毎月主に第4水曜日に会館内の施設等が集まり、会館の適正かつ円滑な管理運営を図るため、連絡事項やその他問題になっている事項を協議した。

会館ディスプレイ

1年を通じて来館者に季節を感じていただくため会館のエントランスに四季折々のディスプレイの飾りつけを行った。

施設等の維持管理業務

施設・設備管理業務（施設設備・日常清掃他）

施設設備管理業務・日常清掃業務・時間外管理業務・年3回の床ワックス・年2回の窓ガラス清掃・照明器具等の保守点検・館内の害虫駆除など日々の管理等に関して委託した。

機械警報警備業務

閉館後の日々の機械警備を委託した。

空調保守点検業務

夏季と冬季の空調使用時に正常に作動するため空調保守点検を委託した。

昇降機保守点検業務

エレベーターが正常に作動するため月1回保守点検を委託した。

自動扉保守点検業務

自動扉が正常に作動するため年4回保守点検を委託した。

可動椅子保守点検業務

多目的ホールの可動椅子・ステージが正常に作動するため年1回保守点検を委託した。

自家用電気工作物保守点検業務

館内の電化製品が正常に作動するため年6回（隔月）保守点検を委託した。

非常用発電機設備保守点検業務

非常時のための発電装置が正常に作動するため年2回保守点検を委託した。

緑地管理業務

敷地内の樹木等の剪定・害虫駆除を委託した。

消防設備等保守点検業務

災害時に消防設備が正常に作動するため年2回保守点検を委託した。

浄化槽維持管理・保守点検業務

慈恵園と共有の浄化槽が正常に作動するため週1回保守点検・年1回の中空糸膜の洗浄を委託した。

浴室管理業務

日々の浴室の受付業務（休館日・月曜日休み）を委託した。

非常文字電光掲示板点検業務

会議室等に設置してある非常文字電光掲示板が正常に作動するため年1回保守点検を委託した。

ポンプ保守点検業務

ポンプ設備が正常に作動するため年1回保守点検を委託した。

映像・音響設備保守業務

多目的ホールの映写設備・多目的ホール等の音響設備が正常に作動するため年2回保守点検を委託した。

電話保守点検業務

館内の電話回線が正常に作動するため月1回保守点検を委託した。

建物設備点検業務

館内の設備が正常であるか建築士による点検を依頼した。

汚泥引抜業務

慈恵園と共有の浄化槽の汚泥引抜を年3回依頼した。

水質検査業務（雑用水・受水槽・浴槽水）

館内で使用する水の水質が清浄であるか判断するため年1回検査を委託した。

大井川福祉センターの管理運営

開館日並びに利用者数

（単位：人）

区分 月別	開館日	研修室 会議室	大広間 娯楽室	ボランティア ビューロー	おもちゃ 図書館	ヘルス ルーム	浴室	その他	通所 等	延べ 人数
4	19日	140	0	71	0	0	855	187	464	1,717
5	11日	83	18	20	10	0	0	65	437	633
6	29日	396	0	76	21	185	0	122	616	1,416
7	28日	376	65	55	73	268	0	231	665	1,733
8	29日	318	73	48	48	265	0	247	590	1,589
9	27日	298	35	56	49	298	79	136	612	1,563
10	30日	344	113	78	33	308	1,693	483	703	3,755
11	27日	396	43	48	22	250	1,761	312	633	3,465
12	27日	324	138	44	5	276	1,882	332	640	3,641
1	26日	290	72	36	43	313	1,947	299	615	3,615
2	25日	290	58	48	35	321	2,009	275	593	3,629
3	29日	529	97	87	30	361	2,238	534	713	4,589
合計	307日	3,784	712	667	369	2,845	12,464	3,223	7,281	31,345

※その他は、相談室・せせらぎ広場・慰問・見学・視察等を含みます。（前年度延べ70,609人）

※4月21日～5月20日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉館

※4月10日～6月1日 新型コロナウイルス感染拡大防止のため浴室休業

※6月2日～9月28日 天井工事のため浴室休業

※(R2)3月13日～5月20日 新型コロナウイルス感染拡大防止のためおもちゃ図書館閉鎖

※(R2)3月13日～6月1日 新型コロナウイルス感染拡大防止のためヘルスルーム閉鎖

※1月20日～ 館内での食事禁止

〈新型コロナウイルス感染防止対策〉

- ・カウンターにアクリル板設置 2台
- ・浴室受付に飛沫防止ビニールカーテン設置
- ・小型サーモグラフィカメラ（ハンディタイプ）設置 1台

おもちゃ図書館

今年度も玩具の寄付及び購入による玩具充実で利用者拡大に努めた。

せせらぎ広場

芝生の広場を公園のように自由に利用していただいている。例年6月中旬から9月中旬まで、噴水をせき止めて浅いプールのようにして小さな子どもたちに利用していただいているが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止と致しました。

ほほえみロビーイベント

ほほえみ1階のロビーにてボランティアで出演してくださる方を招いて、コンサートやダンスショー等のイベントを開催した。

開催日 8月20日(木)～12月11日(金) 延べ5回
会場 大井川福祉センター 1階ロビー

ほほえみ映画会(映画上映会)

大井川福祉センターの広報事業及び地域交流事業として、夏休みと冬休みの期間に子どもたちとその親を対象とした映画会を行っているが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止した。

ほほえみからのおしらせの発行(社協つうしんの折込)

発行回数 月1回(1回の発行部数295部)

センターロビーのディスプレイ

来館者に季節感を味わっていただけるよう、正面玄関ロビーに季節の飾り付けを行った。

防災訓練

災害時に備え、大井川福祉センターにて防災訓練を行った。

(第1回)

開催日 12月16日(水)
内容 1階ボイラー室から火災が発生したことを想定し、初期消火・避難訓練・誘導訓練を実施。
参加者 職員・会館来館者等・ボランティア・デイサービス利用者 計73人

(第2回)

開催日 2月17日(水)
内容 1階厨房から火災が発生したことを想定し、初期消火・避難訓練・誘導訓練を実施。
参加者 職員・会館来館者等・ボランティア・デイサービス利用者 計69人

施設等の維持管理業務

特定建築物の環境衛生管理基準に基づく施設の整備及び衛生環境管理

環境管理監督業務(建築物環境衛生管理技術者を選任)

センターの維持管理が環境衛生上適正に行われるように監督するため、建築物衛生法で定める事業登録制度に基づき、県知事の登録を受けた業者に委託した。

空気環境測定業務 2ヶ月に1回行った。

防虫防鼠駆除業務

衛生害虫・鼠族点検を月1回、ダニ類全域駆除を年6回、衛生害虫駆除を年1回、ダニ類点検調査を年2回行った。

飲料水給湯水井水水質検査業務

飲料水は、16項目検査、11項目検査、消毒副生成物12項目検査を各年1回行った。給湯水は、11項目検査を年2回行った。

浴槽水水質検査業務

浴槽水質検査項目は、濁度・過マンガン酸カリウム消費量・大腸菌群数・レジオネラ菌族。幸の湯と福の湯は年6回、デイサービス浴槽2箇所は年4回行った。

日常清掃業務 日々の館内・外の清掃を行った。

タイルカーペット・床面洗浄ワックス業務・窓硝子清掃業務

年2回の清掃業務を行った。

貯湯槽清掃業務・貯水槽清掃業務

年1回の清掃業務を行った。

汚水処理施設維持管理業務

合併処理浄化槽（処理人数270人）の点検 2週間に1回行った

油水分離槽維持管理業務

0.0555m³・1基 年3回（7月・11月・3月）行った。

自動扉開閉装置保守点検業務

5台の自動ドアを点検 年4回行った。

エレベーター保守点検業務

エレベーターが正常に作動するため遠隔点検を月1回、保守点検を年4回行った。

消防用設備点検業務

災害時に消防設備が正常に作動するため機器点検を年2回、総合点検を年1回
行った。

入浴施設関連業務

ボイラー・ポンプ保守点検業務 定期点検を年3回行った。

ろ過機保守点検業務 定期点検を年3回行った。

地下オイルタンク配管等設備点検業務 清掃及び漏洩検査を年1回行った。

浴室管理業務 日々の浴室の受付業務（休館日・月曜日休み）を行った。

浴室床清掃業務 浴室床のタイル及び天然石の洗浄を年4回行った。

浴室定期清掃業務 毎週1回浴室の清掃を行った。

危険物管理及びボイラー管理業務 地下オイルタンク管理点検業務等を行っ
た。

警備業務

閉館後の日々の機械警備を行った。

自家用電気工作物保安管理業務

電気管理技術者等が月1回の定期検査を行った。

空調設備保守点検業務

夏季と冬季の空調使用時に正常に作動するため空調保守点検を年2回行った。

改正フロン法による冷媒ガス漏えい点検を年4回行った。

夜間休日管理業務

夜間及び土日の施設の貸し出し対応等や窓口業務を行った。

緑地管理業務

敷地内の樹木の剪定、害虫駆除及び芝生広場の刈込み等を行った。

③ 社協役員の充実

ア 理事会、評議員会の効率的、効果的運営 理事 15 人・監事 2 人

役職	氏名	団体名等	役職	氏名	団体名等
会長	永田實治	学識経験者	理事	小林香代子	焼津市校長会 6 月 25 日まで
副会長	岩崎四郎	自治会連合会		内田いつ乃	焼津市校長会 6 月 25 日から
〃	大石壯吾	民生委員児童委員協議会	〃	山田敏晴	身体障害者福祉協会
〃	早川 猛	自治会連合会	〃	斎藤不二代	民生委員児童委員協議会
常務理事	村松繁美	社協事務局	〃	村松隆義	焼津福祉会
理事	鈴木春子	ボランティア連絡協議会	〃	増田浩之	焼津市健康福祉部
〃	古桑容子	更生保護女性の会	〃	小島恵一	労働者福祉協議会 1 月 27 日まで
〃	杉本 昭	焼津ロータリークラブ		原田浩章	労働者福祉協議会 1 月 27 日から
〃	増田樹郎	静岡福祉大学	監事	丸山昭夫	丸山コンサルティング事務所
			〃	阿井 誠	しずおか焼津信用金庫

会議の開催状況 三役会

月日	会議件目
5 月 2 8 日 (第 1 回)	1 補欠理事の承認（選任）について 2 任期満了に伴う評議員選任等委員会委員の選任について 3 補欠評議員の推薦について 4 令和元年度事業報告並びに計算関係書類及び財産目録の承認について 5 令和元年度財務会計に関する内部統制の向上に対する支援業務について 6 法人運営拠点区分 令和 2 年度第 1 次資金収支補正予算(案)について 7 令和 2 年度定時評議員会の開催について
8 月 2 7 日 (第 2 回)	1 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について（令和 2 年 4 月から 8 月まで） 2 補欠評議員の推薦について 3 障害者総合支援法に基づく居宅介護及び重度訪問介護事業運営規程大井川福祉サービスセンターの一部改正について 4 法人運営拠点区分 令和 2 年度第 2 次資金収支補正予算（案）について 5 介護保険等事業（焼津）拠点区分 令和 2 年度第 1 次資金収支補正予算（案）について 6 介護保険等事業（大井川）拠点区分 令和 2 年度第 1 次資金収支補正予算（案）について 7 放課後児童クラブ事業拠点区分 令和 2 年度第 1 次資金収支補正予算（案）について 8 会館管理運営事業拠点区分 令和 2 年度第 1 次資金収支補正予算（案）について 9 令和 2 年度第 2 回評議員会の開催について

月日	会議件目
1月 8日 (第3回)	1 補欠理事の承認（選任）について 2 補欠評議員の推薦について 3 職員給与規程の一部改正について 4 訪問介護又は介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業運営規程 焼津福祉サービスセンターの一部改正について 5 訪問介護又は介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業運営規程 大井川福祉サービスセンターの一部改正について 6 通所介護事業又は介護予防・日常生活支援総合事業第一号通所事業運 営規程大井川福祉サービスセンターの一部改正について 7 焼津市北部地域包括支援センター（指定介護予防支援事業所）運営規程の 一部改正について 8 焼津市大井川地域包括支援センター（指定介護予防支援事業所）運営規 程の一部改正について 9 特殊勤務に関する規程の制定について 10 法人運営拠点区分 令和2年度第3次資金収支補正予算（案）について 11 介護保険等事業（焼津）拠点区分 令和2年度第2次資金収支補正予算 （案）について 12 放課後児童クラブ事業拠点区分 令和2年度第2次資金収支補正予算 （案）について 13 令和2年度第3回評議員会の開催について
3月 5日 (第4回)	1 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について（令和2年9月以降分） 2 事務局規程の一部改正について 3 特定相談支援事業運営規程の一部改正について 4 法人運営拠点区分 令和2年度第4次資金収支補正予算（案）について 5 令和3年度事業計画及び収支予算（案）について 6 令和2年度第4回評議員会の開催について

理事会 会議の開催状況

月日	会議件目
6月 8日 (第1回) 出席者 12人 監事 1人 欠席者 4人	1 補欠理事の承認について 2 任期満了に伴う評議員選任等委員会委員の選任について 3 補欠評議員の推薦について 4 令和元年度事業報告並びに計算関係書類及び財産目録の承認について 5 令和元年度財務会計に関する内部統制の向上に対する支援業務について 6 法人運営拠点区分 令和2年度第1次資金収支補正予算(案)について 7 令和2年度定時評議員会の開催について
9月 4日 (第2回) 出席者 13人 監事 2人 欠席者 2人	1 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について（令和2年4月から8月まで） 2 補欠評議員の推薦について 3 障害者総合支援法に基づく居宅介護及び重度訪問介護事業運営規程大井川 福祉サービスセンターの一部改正について 4 法人運営拠点区分 令和2年度第2次資金収支補正予算（案）について 5 介護保険等事業（焼津）拠点区分 令和2年度第1次資金収支補正予算 （案）について 6 介護保険等事業（大井川）拠点区分 令和2年度第1次資金収支補正予算 （案）について 7 放課後児童クラブ事業拠点区分 令和2年度第1次資金収支補正予算 （案）について 8 会館管理運営事業拠点区分 令和2年度第1次資金収支補正予算（案）に ついて 9 令和2年度第2回評議員会の開催について

月日	会議件目
1月15日 (第3回) 出席者 10人 監事 1人 欠席者 6人	1 補欠理事の承認について 2 補欠評議員の推薦について 3 職員給与規程の一部改正について 4 訪問介護又は介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業運営規程 焼津福祉サービスセンターの一部改正について 5 訪問介護又は介護予防・日常生活支援総合事業第一号訪問事業運営規程 大井川福祉サービスセンターの一部改正について 6 通所介護事業又は介護予防・日常生活支援総合事業第一号通所事業運営規程 大井川福祉サービスセンターの一部改正について 7 焼津市北部地域包括支援センター（指定介護予防支援事業所）運営規程 の一部改正について 8 焼津市大井川地域包括支援センター（指定介護予防支援事業所）運営規程 の一部改正について 9 特殊勤務に関する規程の制定について 10 法人運営拠点区分 令和2年度第3次資金収支補正予算（案）について 11 介護保険等事業（焼津）拠点区分 令和2年度第2次資金収支補正予算 （案）について 12 放課後児童クラブ事業拠点区分 令和2年度第2次資金収支補正予算 （案）について 13 令和2年度第3回評議員会の開催について
3月15日 (第4回) 出席者 14人 監事 2人 欠席者 1人	1 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について（令和2年9月以降分） 2 事務局規程の一部改正について 3 特定相談支援事業運営規程の一部改正について 4 法人運営拠点区分 令和2年度第4次資金収支補正予算（案）について 5 令和3年度事業計画及び収支予算（案）について 6 令和2年度第4回評議員会の開催について

評議員選任等委員会 4人

氏名	団体名等	氏名	団体名等
清水榮男	外部委員	丸山昭夫	社会福祉協議会監事
深沢英雄	外部委員	古川譲治	社会福祉協議会事務局6月8日まで
		高松浩美	社会福祉協議会事務局6月8日から

評議員選任等委員会 会議の開催状況

月日	会議件目
6月8日 (第1回) 出席者 4人 欠席者 0人	1 補欠評議員の選任について
9月4日 (第2回) 出席者 4人 欠席者 0人	1 補欠評議員の選任について
1月15日 (第3回) 出席者 2人 欠席者 2人	1 補欠評議員の選任について

評議員 32人

氏名	団体名等	氏名	団体名等	氏名	団体名等
坂本 清	自治会連合会	金井富保	民生委員児童委員	曾根早苗	健康づくり食生活推進協議会
関 宣之	〃	大場光雄	〃		9月4日まで
小杉山正雄	〃	八木孝博	〃	深沢よう子	〃 9月4日から
杉木敏雄	〃	松村正志	〃	青島康一郎	焼津青年会議所 1月15日まで
嶋 芳正	〃	松本謹悟	〃	鈴木 潤	〃 1月15日から
塩沢英雄	自治会連合会 6月8日まで	村上とき子	〃	村松幹子	保育園協会
片山進自	〃 6月8日から	原川光世	〃	前田嘉彦	大井川睦園 1月15日まで
村田隆弘	自治会連合会	井鍋眞澄	〃	青木恵子	〃 1月15日から
湯上俊彦	〃	滝井不二夫	〃	村松悌三朗	焼津商工会議所
吉田信雄	〃	安藤妙子	ボランティア連絡協議会	見崎孝之	社会教育課
山名 競	〃	田村正志	手をつなぐ育成会	伊東義直	地域福祉課 6月8日まで
小島達義	〃	池谷賢作	重症心身障害児(者)を守る会	橋ヶ谷正巳	〃 6月8日から
塚本修治郎	民生委員児童委員	滝澤義雄	さわやかクラブやいづ連合会		

評議員会 会議の開催状況

月日	会議件目
6月25日 (定時) 出席者 31人 欠席者 1人	1 補欠理事の選任について 2 令和元年度事業報告並びに計算書類及び財産目録の承認について 3 令和元年度財務会計に関する内部統制の向上に対する支援業務について 4 法人運営拠点区分 第1次資金収支補正予算(案)について
9月14日 (第2回) 出席者 32人 欠席者 0人	1 法人運営拠点区分 令和2年度第2次 資金収支補正予算(案)について 2 介護保険等事業(焼津)拠点区分 令和2年度第1次 資金収支補正予算(案)について 3 介護保険等事業(大井川)拠点区分 令和2年度第1次 資金収支補正予算(案)について 4 放課後児童クラブ事業拠点区分 令和2年度第1次 資金収支補正予算(案)について 5 会館管理運営事業拠点区分 令和2年度第1次 資金収支補正予算(案)について
1月27日 (第3回) 出席者 29人 欠席者 3人	1 補欠理事の選任について 2 法人運営拠点区分 令和2年度第3次 資金収支補正予算(案)について 3 介護保険等事業(焼津)拠点区分 令和2年度第2次 資金収支補正予算(案)について 4 放課後児童クラブ事業拠点区分 令和2年度第2次 資金収支補正予算(案)について
3月26日 (第4回) 出席者 27人 欠席者 5人	1 法人運営拠点区分 令和2年度第4次 資金収支補正予算(案)について 2 令和3年度事業計画及び収支予算(案)について

イ 支部長会の運営

支部長 38 人

氏名	自治会	氏名	自治会	氏名	自治会
北原正資	焼津第 1 自治会	小池 進	港第 14 自治会	大石弘司	吉永自治会
鈴木 守	焼津第 2 〃	杉原利彦	東益津第 15 〃	半田正孝	高新田 〃
桑原てる代	焼津第 3 〃	寺本誠一	東益津第 16 〃	山名 競	宗高 〃
石田美和	焼津第 4 〃	仁藤清夫	東益津第 17 〃	富田貞夫	上小杉 〃
鈴木 勲	焼津第 5 〃	松本昌巳	大富第 18 〃	望月 弘	藤守 〃
井川増廣	焼津第 6 〃	八木克雄	大富第 19 〃	横山 均	下小杉 〃
松田隆行	焼津第 7 〃	長谷川勝治	大富第 20 〃	滝井昌彦	相川 〃
戸塚繁樹	豊田第 8 〃	田中一豊	和田第 21 〃	北堀朝治	西島 〃
滝 孝	豊田第 9 〃	吉田鐵男	和田第 22 〃	山下 修	上泉 〃
永田ゆう子	豊田第 10 〃	山本隆雄	港第 23 〃	松永 仁	下江留 〃
小梁憲治	小川第 11 〃	白石博史	中島 〃	小島達義	上新田 〃
吉田 博	小川第 12 〃	松田 明	飯淵 〃	大貫敏明	つつじ平 〃
三倉豊久	小川第 13 〃	村松伊久雄	利右衛門 〃		

支部長会 会議の開催状況

月日	会議件目
6 月 5 日 (第 1 回) 出席者 38 人 欠席者 0 人	1 令和 2 度社協会費 (普通・特別) について
9 月 11 日 (第 2 回) 出席者 37 人 欠席者 1 人	1 令和 2 年度共同募金運動 (赤い羽根・歳末たすけあい) 戸別募金について
11 月 6 日 (第 3 回) 出席者 36 人 欠席者 2 人	1 令和 2 年度歳末たすけあい運動特別募金について
3 月 8 日 (第 4 回) 出席者 37 人 欠席者 1 人	1 令和 2 年度焼津市社会福祉協議会会費の実績報告について 2 令和 2 度共同募金 (赤い羽根・歳末たすけあい) 運動の実績報告について

福祉サービスに関する苦情解決第三者委員会

氏名	団体名等
萩原 浩	元民生委員児童委員協議会会長
増田永二	元焼津市保健福祉部長
田代まつ江	元民生委員児童委員

福祉サービスに関する苦情解決第三者委員会 会議の開催状況

月日	会議件目
11 月 12 日 出席者 3 人 欠席者 0 人	1 令和元年度の状況報告について (苦情解決第三者委員への報告件数 0 件) ※その他業務中の事故・ヒヤリハットの事例を報告 2 意見交換 3 ホームページへの苦情解決体制の掲載について

苦情受付状況

事業 \ 種別	制度規程	接遇態度	サービス内容等	その他
法人運営事業	0	0	0	0
地域福祉推進事業	0	0	0	0
福祉サービス利用援助事業	0	0	0	0
成年後見事業	0	0	0	0
高齢者生きがい活動支援事業(かもめ)	0	0	0	0
居宅介護支援事業(焼津)	0	0	0	0
老人居宅介護・居宅介護・移動支援(焼津)	0	0	0	0
北部地域包括支援センター事業	0	0	0	0
相談支援事業	0	0	0	0
高齢者生きがい活動支援事業(ぬく森)	0	0	0	0
居宅介護支援事業(大井川)	0	0	0	0
老人居宅介護・居宅介護・移動支援(大井川)	0	0	0	0
大井川地域包括支援センター事業	0	0	0	0
老人デイサービスセンター事業	0	0	0	0
放課後児童クラブ事業	0	0	0	0
総合福祉会館事業	0	0	0	0
大井川福祉センター事業	0	0	0	0

※要望や参考意見及びヒヤリハットを除く

④ 職員体制の強化
職員の人材確保・育成強化

社会福祉充実計画について

平成28年度の決算から算出された社会福祉充実残額について、5ヶ年の計画を立て、計画に基づき実施した。

平成28年度充実残額	令和2年度実施計画	令和2年度実施報告
64,460,000 円	職員育成事業 2,882,000 円 職員処遇充実事業 10,010,000 円	職員育成事業 273,000 円(職員全体研修としてメンタルヘルス研修と安全運転研修を開催) 職員処遇充実事業 6,920,000 円(臨時職員 57 人・登録職員 49 人に一時金支給)